

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 8日

事業所名 はぐハウスⅢ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	活動に合わせた工夫を行っています	環境整備を行う
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	基準以上の職員を配置しております	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	構造上出来ない箇所もございますが安全面を配慮して支援している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	業務効率化を進めるために話し合いをしている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	結果について話し合い、共有、改善に努めています	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページ等で公開している	
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	施設内外の研修に参加をし、資料を基に施設内研修を実施している	今後も情報共有しスキルアップに努める
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	88%	13%	保護者の方と定期的な連絡をとり、ニーズの把握をしモニタリングを行っている	
	9	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	独自のアセスメントツールを使用している	全員で共有するように努める
	10	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	保育士、理学療法士を中心にしています	
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	個々の特性や状況、季節を考慮し様々な活動を行っている	季節を感じる事が出来るように工夫している
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	長期休暇は季節に合わせたプログラムを作成しています	課題を設定していく
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	朝の会等の集団活動で同じ時間を共有し、個別活動は個々の特性に合わせて作成しています	
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼で行っている。参加できない職員へは申し送りしている	
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終了時間が一定ではないが、記録を行い申し送りを行っている	
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々の記録を徹底して行い情報交換、共有を行っています	
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	必要に応じてモニタリングを行っている	
18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	ガイドラインの読み合わせを行い、支援の基本活動を意識して児童と関わっています		

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達管理責任者に限らず状況に合わせふさわしいと考える者が参画している	
	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	必要な情報の取得に努めています。また連携を図っています	
	21	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	医療連携用紙にて連携を得ています	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	送迎時、担当者会議等で情報交換、共有を行っています	
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	必要に応じ情報の提供を行っています	
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	38%	63%	機会があれば積極的に参加している	今後も積極的に参加したいと考えています
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	25%	75%		検討し、機会をもっていく
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	機会があれば積極的に参加している	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明を行っています	
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者様と連絡をとり、必要に応じた助言ができるようにしている	
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	相談や申し入れには迅速に対応しています	相談や申し入れがあった際は、職員間で話し合い、事例の周知を行っている
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月のおたよりを作成、必要に応じてお知らせを発行している。ホームページにも公開している	
	32	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報を安全に管理しております	職員の個人携帯をウォールポケットに入れ管理を行っている
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	自己の意思決定の表出、表現できるように支援支援しています	
	34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	消防訓練など地域の方にお声がけしています	

非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	契約時に説明している。また職員、児童、保護者の方も参加で定期的な訓練を実施しています	
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	職員、児童、保護者の方も参加で定期的な訓練を実施しています	
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	外部研修への参加と施設内での研修を行っている	
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	支援計画への記載と職員間での検討、保護者への説明と確認同意のもと行っている	
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	88%	13%	保護者から確認をとり、個人カードで管理し利用時にはすぐわかるように工夫しています	
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	全職員が積極的に取り組み事例検討を行っている	